

うおっち Watch

発行：湖西中学校区園小中+高一貫教育推進委員会 担当：地域連携部会
＜タイトルの「うおっち」には18年間の育ちを「地域でWatch（見つめる）」という意味を込めています。＞

湖西中学校区5つの校園においては、今年度も「つながりの中でたくましく学ぶ子どもの育成」をめざし、5つの部会を編成して18年間の子どもの発達段階を意識した「育ち」と「学び」のつながりを重視した教育を実践してきました。

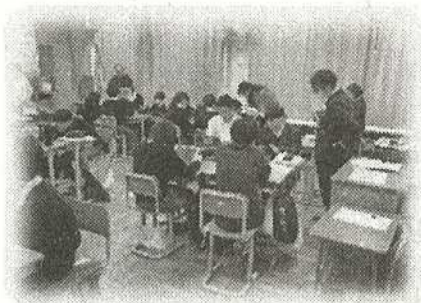
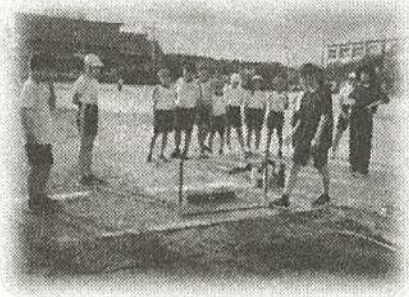
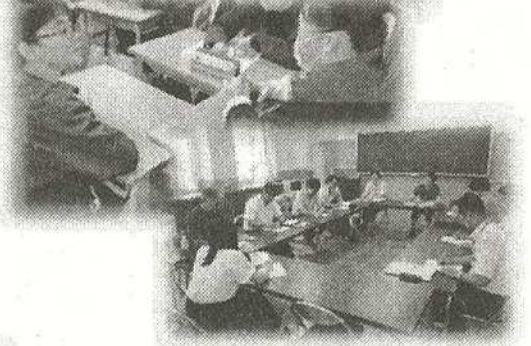
新旭南小学校区においては、昨年11月28日に「学びに向かう力推進事業（園小連携接続）」として、静里なのはな園と新旭南小学校とで公開研修会を行い、保育・授業改善の一端を公開させていただきました。今後もこの取組や実践を、園から小、小から中、中から高の接続期において、子どもの育ちや学びが途切れることなくつながり、更に発展・深化していくための基盤にしたいと考えております。

また、2月10日には大津市教育センター所長の村田耕一先生を講師にお迎えし、「学ぶ力向上に向けた幼小中連携のポイントについて」の講話をいただきました。子どもの「主体的・対話的で深い学び」の姿を切り口に園小中連携を進めていくことや、個別最適な学びと協働的な学びの充実などについてご教示いただきました。

今後も接続期の課題を明らかにし、その課題（「段差」）を乗り越える力を子どもたちの中に育てていくことを目指し、取組を進めてまいります。

保護者、地域の皆さま方には、今後ともご理解とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

湖西中学校区園小中+高一貫教育推進委員長 梅村 俊樹（新旭南小学校長）



令和7年度 湖西中学校区園小中+(プラス)高一貫教育 【取組報告】

園小部会

今年度は、校区・校種を越えて、互いにより理解し合うことができるよう、園⇄小、園⇄園、小⇄小の垣根を越えて、校・園内研究会に参加したり、授業・保育を体験したりし、『つながりを意識した取り組み』を行いました。実際に子どもたちの様子を観察したり、教師や保育者の願いや関わりを身近に感じたり、園で育んだ土台が学校で生きていることや、安心の中で子どもが挑戦している姿を共有したりすることで、相互理解を深めることができました。

次年度も、園と小学校の段差がより滑らかになるように、互いに参観し合い、子どもの理解を深めていくことで、自ら学ぶ力を育てていきたいと思えます。



小中部会

【学ぶ姿の接続】

本部会では、中学校区の子どもたちの育ち・成長を支えていくための視点を考えました。そして、今年度の取組で以下の三点が大切だと考えました。

- ①自分と周りの人や物との距離感の考え方
- ②学習開始時のルール
- ③子どもたちへの関わり方、接し方

①は、子どもたちがトラブルになる前に立ち止まって考えること。また、トラブルの際に行動すべきことを考えること。②は、学習への切り替えとメリハリ。③は、子どもたちが安心して過ごせるように意識して声掛けをすること等。これらを土台として、次年度も中学校区全体の子どもたちの豊かな育ち・成長を目指していきたいと考えます。

【中1ギャップ】

中1ギャップ部会では、小6と中1の接続期における「段差」や「進学不安」を少しでも軽減させるために、北小6年生と南小6年生の交流会での仲間づくり活動や、中学生陸上部の先輩から市陸上記録会に向け、ポイントを教えてもらう活動を行いました。これらの活動では新しい友達の名前を覚え、有意義な時間を過ごすことができました。また、中学校での両校合同授業・部活動体験を行いました。これらの体験は、中学校進学への不安軽減につながり、入学を楽しみにする児童が増えました。

【キャリア教育】

キャリア教育部会では、中学2年生が安曇川高校での体験入学と高島高校からの出前授業を実施しました。3年生での進路指導の前段階で「高校」を体験することの意義は実証済みです。今後も継続していきたいと考えています。また、小学校高学年において、中学校卒業後の進路について考える視点を検討することや、小学校の教師が中学校の「生活の決まり」や「教科担任制の学習習慣」などについて学ぶ機会をつくることを検討しています。

地域連携部会

地域連携部会では、今年度、中学校区の学校地域連携カリキュラムの作成を行いました。令和8年度以降は、以下の視点で活用していきます。

- ◆「環境」「栽培・食育」「キャリア」「福祉・防災」「体と心づくり」の5つの柱について、各校園でめざす子どもの姿を共有し、保育や授業の改善を進める。
- ◆同じ中学校区内の小学校、園での取組に大きな差がないか確認し、各校園のカリキュラムの見直し等に役立てる。
- ◆園⇄小学校、小学校⇄中学校での取組をお互いが把握し、各校園での活動を通じた学びを深めるための資料とする。

